

1. 科目名 (単位数)	子どもと環境 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2333 SJMP2133
2. 授業担当教員	荒木由紀子		
4. 授業形態	講義・演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	保育内容総論履修後および保育内容5領域の学修を終了または並行して学ぶことが望ましい		
7. 講義概要	<p>本授業では、領域「環境」の指導に関連する、乳幼児を取り巻く環境や、乳幼児と環境との関わりについての専門的事項における感性を養い、知識・技能を身に付ける。具体的には、</p> <p>① 乳幼児の取り巻く環境と、乳幼児の発達にとっての意義 ② 乳幼児期の思考・科学的概念の発達 ③ 乳幼児期の標識・文字等、情報・施設との関わりでの発達 これらの事項について理解する。</p>		
8. 学習目標	<p>1) 乳幼児を取り巻く環境の現代的課題を理解した上で、乳幼児を取り巻く保育環境の諸側面と幼児の発達におけるそれらの重要性、及び乳幼児と環境との関わり方について、専門的概念(能動性、好奇心、探求心、有能感等)を用いて説明できる。</p> <p>2) 乳幼児の身近な環境とのかかわりにおける認知的発達の特徴と筋道を理解した上で、乳幼児の自然環境・社会環境に対する興味・関心、理解の発達を説明できる。</p> <p>3) 上記専門的事項を踏まえた保育実践を展開できる。</p>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>アサインメント (宿題)】</p> <p>1, 「子ども目線での不思議に思うことについて」個人発表とし、PPTで行う。</p> <p>2, 予め教科書を読んでから講義を受けること</p> <p>【レポート課題】</p> <p>1, 課題図書を読み、それについてのレポート提出。課題図書については授業時に提示する。</p> <p>2, 期末に総括レポートの提出。</p> <p>【その他】</p> <p>1, 学修の定着を図るため、小テストを3回程度行う。</p> <p>2, 授業資料の提出あり。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】秋田喜代美他編「新時代の保育双書 保育内容 環境 第3版」みらい</p> <p>【参考書】文部科学省 「幼稚園教育要領解説」平成30年3月 厚生労働省 「保育所保育指針解説」平成30年3月 内閣府「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」平成30年3月</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1) 子どもにとっての「環境」の意味を理解し、環境構成の理論と実践について理解した。</p> <p>2) 領域「環境」の捉え方と考え方を理解し、基本を踏まえた総合的保育における領域「環境」の意義を理解した。</p> <p>3) 環境構成および領域における「環境」の諸類型を理解し、知識と理論に基づいた保育実践を展開できるようになった。</p> <p>○評定の方法</p> <p>上記の学習目標に基づいた規準を以下の方法で総合的に評価する。</p> <p>1. 参加、発表等から授業に取り組む姿勢 「授業態度」 (30%) 2. 各授業内の課題、中間レポート等 「小レポート」 (30%) 3. 学習内容を総括する課題 「期末レポート」 (40%)</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>乳児・幼児にとっての「環境」について学んでいきます。保育者としての立ち位置を自覚すると共に子どもと同じ興味関心を持つこと、同じ視点を持つことも大切にして下さい。生活の中での季節の風物詩を大切に、それに関連する製作なども行いたいと思います。グループでの意見交換の時間を多く取りますので、積極的な参加を望みます。教科書及び授業資料を毎回持参してください。本学の規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は、単位の習得を認めません。遅延の場合は遅延証明書を当日またはメールにて提出して下さい。遅刻は授業開始から15分以内とし、それ以降は欠席とします。</p>		
13. オフィスアワー	別途 通知します		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	保育における「環境」の諸類型	事前学習	教科書 pp.10~18 及び pp.20~32 を読む。
		事後学習	「環境」の諸類型について復習する。
第2回	子どもの発達と環境 : 能動性・好奇心・探求心・有能感	事前学習	教科書 pp.33~40 を読む。
		事後学習	子どもの発達と感情との関係性にふさわしい環境構成について復習する。
第3回	環境構成における「環境」① : 人的環境としての保育者との関わり	事前学習	教科書 pp.42~46 を読む。
		事後学習	保育者と人的環境との違いについて復習する。
第4回	環境構成における「環境」② : 人的環境としての友だち・異年齢集団	事前学習	教科書 pp.46~49 を読む。
		事後学習	友達と人的環境との違いについて復習する。
第5回	環境構成における「環境」③ : 物的環境としての保育の場	事前学習	教科書 pp.53~64 を読む。
		事後学習	「周囲のモノ」と物的環境の違いについて復習する。
第6回	環境構成における「環境」④	事前学習	教科書 pp.65~79 を読む。

	: 物的環境としての素材・道具	事後学習	素材・道具と物的環境との違いについて復習しておく。
第7回	子どもを取り巻く環境の諸側面と子どもを守る安全な「環境」	事前学習	教科書 pp.119~126 を読む。
		事後学習	現在の子どもの生活環境について復習する。
第8回	子どもの発達と自然環境① : 物理的事象・数量・図形等	事前学習	教科書 pp.79~83 を読む。
		事後学習	子どもの発達段階と物理的事象・数量・図形についての育みとの関係を復習する。
第9回	子どもの発達と自然環境② : 生物・自然等	事前学習	教科書 pp.84~99 を読む。
		事後学習	子どもの発達段階と生物・自然等についての育みとの関係を復習する。
第10回	子どもの発達と社会環境① : 標識・文字等	事前学習	保育のどのような場面で標識・文字等が子ども達に取り込まれていくのか、具体例を挙げておく。
		事後学習	子どもの発達段階と標識・文字等についての育みとの関係を復習する。
第11回	子どもの発達と社会環境② : 社会的環境、文化・伝統、子どもの発達と ESD	事前学習	教科書 pp.101~106 を読む。
		事後学習	SDGs と ESD を保育に取り入れることの大切さを幼稚園教育要領前文を基にまとめる。
第12回	子どもの発達と社会環境③ : 情報・施設・地域資源等	事前学習	教科書 pp.106~111 を読む。
		事後学習	子どもの発達段階と情報・施設・地域資源等についての育みとの関係を復習する
第13回	保幼小接続① : 身近な環境を通した保育と小学校生活	事前学習	教科書 pp.112~118 を読む。
		事後学習	生活に着目した保幼小接続のあり方について復習する。
第14回	保幼小接続② : 領域「環境」と生活科	事前学習	領域「環境」と生活科の共通点を挙げておく
		事後学習	教育内容に着目した保幼小接続のあり方について復習する。
第15回	これまでの振り返りとまとめ	事前学習	これまでの授業についての質問事項をまとめておく。
		事後学習	これまでの授業の振り返りに基づき理解度が及んでいなかった箇所を復習する。